

ハンドボール高校選抜

【男子】
▽位下トーナメント決勝
興 南 35 | 17 | 13 | 30 大分雄城
▽全国大会出場権決定戦
小林秀峰 33 | 20 | 13 | 28 コザ
(電話)

【女子】
▽位下トーナメント決勝
陽 明 25 | 14 | 1 | 9 | 17 大分鶴崎
▽全国大会出場権決定戦

長崎日大 22 | 9 | 8 | 18 国分
13 | 10 | 18 (鹿児島)
那覇西 27 | 12 | 15 | 22 熊本国府

女子那覇西も 全国切符獲得

ハンドボールの第40回九州高校選抜大会・第35回全国高校選抜大会九州地区予選最終日は5日、八重瀬町東風平運動公園体育館で行われ、1位グループトーナメント決勝で男子興南と女子陽明がそれぞれ頂点に立った。昨年に続く興南の男女同時優勝。興南は大分雄城台に35-30で競り勝ち、2年連続6度目の九州制覇。陽明は大分鶴崎に25-17で快勝し、7年ぶり4度目の栄冠となった。全国大会出場権獲得決定戦に回った女子那覇西は熊本国府に27-22で勝利し、上位5チームに与えられる全国への切符を手にした。男子コザは小林秀峰に28-33で敗れ、男子上位6チームに与えられる全国行きを逃した。男子・興南と女子・陽明、那覇西は全国選抜(3月・岩手)に出場する。

興南 2年連続



男子決勝 興南と大分雄城台 相手アディフェンスの上からロンゴシュートを打ち込む興南・比嘉成希(5日、東風平運動公園体育館(山城博明撮影))

陽明 7年ぶり

九州 V



陽明大分鶴崎 スリッドあるフレイで守備を抜き取り、シュートを決める陽明の山内卓(山城博明撮影)

南 攻めて勢い 興 全国へ闘志

男子決勝、興南は試合開始直後から比嘉成希が得意のスリッドと高さのある左45度ロングシュートをきく裂き、チーム全体が勢いづいた。

「今日こそは攻めていこうと思った」と話す比嘉は、速攻で躊躇(ちゅうちゆ)しては連決勝とは打って変わって、思い切り右サイドからゴール真正面へ飛び込み、シュートを決めた。

GK嘉陽俊太の守りも光った。相手の攻撃を冷静に「練習でやっていることができて」と黒島宣昭監督は決勝の内容を一定評価した。しかし「まだコート全体を見渡せる司令塔がない。ゲームメイクのできる選手を育てないといけない」と全国の舞台に向けて課題を口にした。

興南監督は「ベンチも一体になって雰囲気良く試合に臨めた。一試合一試合を大切に戦ってチーム全体で全国制覇を勝ち取りたい」と闘志を燃やした。(仲本文子)

スロウ

陽明 大舞台へ誓う躍進

那覇西、粘り強さで全国(スタートライン)……全国の切符を懸けた最終戦、女子那覇西は序盤から熊本国府を相手に苦戦を強いられた。

相手大型センターに阻まれ、なかなかシュートチャンスを得られなかった。12-15でリードを許したまま後半に持ち込まれたが、そこから那覇西は粘り強さを発揮した。

右足のけがを抱えたまま出場したセンター末吉有里沙。自分が流れを変える役だと思ったことで、体ごと相手ディフェンスにぶつかりながら、気迫のシュートを決めると、ポストプレーもうまく機能し始め逆転し、流れは一気に那覇西へ。末吉がマークされても、由良日香里主将らの冷静なボールさばきで点差を広げた。

「前半の守備がよく我慢すると下地保監督は安堵(あんど)した。ようやく全国へ行けるんじゃないか」と、由良は、



女子全国大会出場権獲得決定戦 那覇西-熊本国府 センターからシュートを放つ那覇西・末吉有里沙

粘りの守備、幅広い攻め

決勝の相手は昨年の九州総体で大敗した大分鶴崎。ほぼ同じメンバーで挑んだ陽明は、粘りの守備に加え、幅広い攻撃で「らしさ」を存分に出し、8点差で快勝を取った。

序盤こそパスキャッチやシュートのミスが続いたが、守備で粘って我慢を重ねた。後半には3-3の高めの守備に切り変え、慌てた相手からミスをつとに成功。ボールを奪うと、すぐさま山内卓、山城藍梨両サイドのスリッドある攻撃へとつなげ、サイドのマークが厳しくなれば、ポストへパスを通した。2人のGKの好セーブもあり、相手練習を重ねたバックパスやシュートを打つと見せかけボールを回すなど裏をか

「あの言葉で火が付いた。差をつけて勝ててうれしかった」と主将の又吉春花。速攻からのスクイーププレーを2度決めた山内は「決勝のために取ってよかった。決まると良かった」と笑顔を見せ、「もっとテクニックを上げて(頂点を)取りに行きたい」と全国への躍進を誓っていた。

「あの手で手懸えを感じてた」と全国の舞台を見据え表情を引き締めた。コザ、悔し涙 成長には手懸え

○男子コザの相手は「いつか県代表として戦おう」と、昨年3月の九州合宿で誓い合った小林秀峰。神里昂大が右45度からの打点の高いロングシュートを決めるなど、一時は3点差をつけた。しかし相手に横一線守備の隙をこじ開け

全国大会出場権獲得決定戦 コザ-小林秀峰 ロングシュートを放つコザ・神里昂大

「リードされても勝つた」と、神里。しかし「勝負どころのシュートも外してしまい流れを取り返せなかった」と悔し涙を抑えられなかった。仲本淳監督は「今までとは違い最後までモチベーションを下げずに戦えた」と、敗戦の中にも選手らの成長に手懸えを感じていた。



うやくスタートラインに立てた」と全国の舞台を見据え表情を引き締めた。コザ、悔し涙 成長には手懸え

○男子コザの相手は「いつか県代表として戦おう」と、昨年3月の九州合宿で誓い合った小林秀峰。神里昂大が右45度からの打点の高いロングシュートを決めるなど、一時は3点差をつけた。しかし相手に横一線守備の隙をこじ開け

全国大会出場権獲得決定戦 コザ-小林秀峰 ロングシュートを放つコザ・神里昂大